

令和3年12月17日

保険薬局 各位

一般社団法人 静岡市薬剤師会
担当副会長 石川圭祐

令和3年度第2回 静岡済生会総合病院・静岡市薬剤師会打ち合わせ報告書

開催日時：令和3年10月27日(水) 19:00~20:00

開催場所：静岡済生会総合病院 第5会議室

出席者：静岡済生会総合病院

薬剤科：科長 大石勝康先生、調剤室責任者 梶山学先生
書記 山中義裕先生

静岡市薬剤師会

副会長 石川圭祐、理事 佐藤芳憲

1. 静岡市薬剤師会より

- ① 後発品のない医薬品で先発併売品のあるものに関して、一般名で処方して頂けないでしょうか。例) ゼスラン小児用細粒とニボラジン小児用細粒小児のもので急性疾患での処方が多いので、取り寄せるとなると患者様をお待たせしてしまいます。また、使用量が少量のため、在庫管理の観点からも一般名処方にして頂けると助かります。

(回答) 体重別のマスターがある院内・院外共通の約束処方のため変更が難しい。疑義照会に対応していただきたい。

- ② 公費番号が手書きで記載されていることがあります。可能であれば印刷していただきたいです。

(回答) 現状、全てのケースにおいて、印刷対応することは難しい状況。

当院では、診察時に担当医師が電子カルテにて患者を選択する際、使用する保険を選択している。そのため、初回時に主保険のみを選択してしまうと、2回目以降については、前回情報を継続して選択している。そのため、公費について印刷が漏れてしまうケースが生じている。

なお、診察時、外来診察室にて印刷された処方箋は、会計窓口にて公費登録を確認し、今回の診察内容について公費該当の有無を診察室に確認した上で、手書き対応させていただいている。

資格消失については、お手数お掛けして申し訳なかった。業務担当者へ改めて報告及び指導させていただく。